※令和４年度以降入学生用

学校番号	４０５

令和５年度　音楽科

教科	音楽	科目	音楽理論	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	なし						
副教材等	改訂　音楽通論　（教育芸術社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

音楽理論（楽典）の基本を年間通じて学習する。また、学んだ楽典の知識を活かした器楽や歌唱の課題をすることによって、学んだ知識を活用する経験をし、音楽理解を深める一助とする。

■　楽典、楽曲の形式、和声法の領域について理解し、演習に取り組むことにより、その技能を身に着ける。身に着けた技能を器楽演奏やボディーパーカッション等の演奏に活用して自分の表現のヒントとして演奏に活かす。また、鑑賞では技能を生かして、演奏様式の特徴をつかむ。

■　学習の到達度は、授業で配布・回収するワークシート、筆記テスト、実技テストで評価する。

・実技テストは、授業中に受講生の前で演奏する発表会の形式で行えることを目標とします。

２　学習の到達目標

音楽に関する基礎的な理論を理解させるとともに、表現と鑑賞に活用する能力を養う。生涯にわたって音楽を愛好する際の楽曲理解を進める能力を養う。

a:楽典の基本的な知識を理解し、楽譜にすることや楽譜を変化させる（移調など）ができることを目標とする。
b:知識・技能を元に、楽譜や鑑賞した曲にある規則や特徴を読み取り、自分の演奏に活かせるようにすることを目標とする。
c:授業を真面目に取り組み、積極的に演奏しようとする態度を養うとともに仲間との教え合い等を通してともに音楽をする楽しさ、生涯にわたって音楽を愛好する心情を育てる。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

※令和４年度以降入学生用

観点の趣旨	・音楽に関する基礎的な理論（楽典）について理解する。 ・音楽に関する基礎的な理論（楽典）で理解したことを楽譜に表すことができる。 ・表現する際に得た知識を活用して演奏できる。	・楽譜に示された音にある規則を読み取ることができる。 ・楽譜に示された音にある規則を自分なりに解釈し、表現することができる。 ・鑑賞を通して学んだ知識や技能が活かされていることを認識し、自分の演奏に取り組むことができる。	・音楽は様々な要素（音色・リズム・和声・速度・旋律・テクスチュア、強弱、形式、構成など）が関連しあって形づくられていることを判別し、受け入れる。 ・主体的、協同的に理論の学習に取り組むとともに、学んだことを活かそうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	楽典を学ぶ①	**・楽譜の仕組み** ①音の長さ ②音の高さ ③記号	a:楽譜（音・記号）の情報について理解し、楽譜に正確に描くことができる。 c: 音を楽譜上に表現するための規則とそれが表現する音楽とのかかわりに興味・関心をもっている。	・ペーパーテスト ・課題プリント		・観察 ・課題プリント
	表現方法を学ぶ①	**・ボディーパーカッション** **・カップリズム**	a:楽譜から音楽を読み取り忠実に表現することができる。 b:楽譜のリズムから表現の仕方を見出して体得して演奏することができている。 c:積極的に取り組むとともに仲間と協同して楽曲に取り組もうとしている。	・実技テスト	・実技テスト	・観察 ・積極性 ・練習の記録

※令和４年度以降入学生用

2学期	楽典を学ぶ②	**音楽の仕組み** ①音程 ②音階	a:楽譜（音程・音階）の情報について理解し、楽譜に正確に描くことができる。 b:楽譜に記譜する際に道筋を理解して説明することができる。 c:音を楽譜上に表現するための規則とそれが表現する音楽とのかかわりに興味・関心をもっている。	・ペーパーテスト ・課題プリント	・ペーパーテスト ・課題プリント	・観察 ・課題プリント
	表現方法を学ぶ②	**キーボード演奏** 任意の曲を移調して演奏する	a:音楽に関する基礎的な理論（楽典）で理解したことを楽譜に表すことができる。 b:楽譜に示された音符のつながり等にある規則を自分なりに解釈し、表現することができる。 c: 積極的に取り組むとともに自分の状況を把握して計画的に楽曲に取り組もうとしている。	・実技テスト	・実技テスト	・観察 ・積極性 ・練習の記録
3学期	楽典を学ぶ③	**音楽の仕組み** ③和声	a:和音の成り立ちと種類を理解し、記譜できる。また、和音の進行によって曲ができあがっていることを理解する。 b:音程との関連を理解し、響きの違いを感じ取れる。 c:和音のしくみを積極的に理解しようとするとともに問題に積極的に取り組む。	・ペーパーテスト ・課題プリント	・ペーパーテスト ・課題プリント	・観察 ・課題プリント
	表現方法を学ぶ③	**コード進行の理論と実践** **～キーボード実習（与えられたコード進行からメロディーを作ろう～**	a:コードの構成音とメロディーの関係を理解している。また構成音以外の音についても理解し、メロディーを創作できる。 b: コード進行のもつイメージを感じ取り、表現に結び付けることができる。同じコード進行を使用した曲を聴いて、自分の曲に取り組み、参考にしている。 c：和音とコード進行のしくみを理積極的に理解しようとするとともに問題に積極的に取り組む。	・実技テスト	・実技テスト	・観察 ・積極性 ・練習の記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度